

# 外国人でも住基カードを受け取ることができます

## 7月8日から外国人への住民基本台帳ネットワークの運用が開始

7月8日から、外国人住民にも住民基本台帳ネットワーク（住基ネット）の運用が始まります。これに併せて、住民基本台帳カード（住基カード）の交付を受けることができるようになります。

### <7月8日からの変更点>

- 外国人住民にも住基ネットの運用が開始されます。  
※住基ネットとは、居住関係を証明する住民基本台帳をネットワーク化したもので、全国共通の本人確認ができるシステムです。
- 住基ネットの運用開始により、住民票に住民票コードが記載されます。また、本人あてに住民票コードを通知します。

※住民票コードとは、住基ネットで本人確認のために必要な全国共通の番号です。

- 住基カードは、市に申請すれば、受け取ることができます。カード表面に住居、氏名、生年月日、性別、顔写真が載った、本人確認として使えるICカードです。発行手数料は1枚500円。申請の際は、在留カードとパスポートを、持ってきてください。



▲カードの有効期限は10年間

### <住基ネットの運用開始で、できるようになること>

- 市外の市区町村でも、住民票の写しの交付が受けられます。
- 住基カードがあると、転入届の手続きが1回で済むようになります。具体的には、これまで住んでいた市区町村に郵送などで転出届を行った後、引っ越し先の市区町村の窓口で転入届をするだけで済みます（通常は転出届、転入届の2回の窓口手続きが必要）。
- 住基カード内に電子証明書が埋め込まれていますので、電子証明書による本人確認が必要な行政手続きが、インターネットで申請できるようになります。

問い合わせは、市市民課市民係（☎77・8472）まで。

# 参院選挙から変わります

## 入場券様式や投票所などを変更

7月に行われる参議院議員通常選挙から、入場券の様式や一部投票所の変更などを行います。

### <投票所入場券の様式が変わります>

投票所入場券の裏面に、期日前投票宣誓書の様式を追加します。事前に宣誓書に記入できますので、期日前投票所での受付が簡単になります。

### <4か所の投票所を変更>

参院選挙では、次の4か所の投票所を変更します。第7・第8・第11投票所の3か所は、各小学校体育館から、従来の施設に変更します。

また、第22投票所は、新設の垂見コミュニティセンターに変更します。

- ▷第7投票所：東宮永小学校体育館  
→柳川農村環境改善センター
- ▷第8投票所：両開小学校体育館  
→有明まほろばセンター
- ▷第11投票所：蒲池小学校体育館  
→蒲池農村環境改善センター
- ▷第22投票所：垂見小学校体育館  
→垂見コミュニティセンター（垂見小学校北側）

### <成年被後見人の選挙権が復活>

平成25年5月31日に公職選挙法が改正されたので、成年被後見人も、今回の参議院議員通常選挙から投票することができます。

問い合わせは、市選挙管理委員会事務局（☎77・8491）まで。

# 図書館本館は午後8時まで開館

## 9月まで試験的に実施

市立図書館では、仕事帰りなどでも立ち寄りやすく、利用しやすい図書館づくりを目指して、本館の開館時間の延長などを試験的に



行います。試験状況から、本格実施に向け検討します。

### <試験期間>7月1日～9月30日

### <開館時間変更の内容>

- 本館の開館時間は、金曜日のみ午後8時まで延長していましたが、今回は、火・水・木曜日にも午後8時まで延長して開館します（土・日・祝日の開館時間はこれまで通り午後6時まで）。
- 本館にある「水の資料館」の開館時間も延長します。
- 雲龍図書館は、金曜日の閉館時間を午後8時から午後6時に変更します。

問い合わせは、市立図書館（☎74・4111）まで。

# 小川県知事が柳川を訪れ、市民と交流

6月3日、「知事のふるさと訪問」が行われ、小川洋県知事が柳川を訪れて、市民と交流し、意見交換などを行いました。

最初に小川知事は、水の郷で金子市長から市の概要説明を受けた後、柳川うなぎ料理組合の皆さんから、せいろ蒸しの特徴や歴史などの説明を受けながら「うなぎのせいろ蒸し」を試食。また、水の郷くらぶの「柳川まり・さげもん教室」で、教室の皆さんと交流しました。



▲「柳川まり・さげもん教室」を訪れた小川知事（写真中央）



▲産業やボランティア団体など5団体と意見交換

## 知事のふるさと訪問 in やながわ

小川知事が最後に訪れた市役所柳川庁舎では、道守ネットワークの山田三代子代表、柳城児童館つどいの広場森郁子代表、JA柳川の特産品プロジェクトチーム「めしおせプロジェクト」のメンバーでJA柳川流通企画課の成清鉄博課長、ノリ養殖技術の向上に努める福岡県有明海区研究連合会の堤大輔会長、毎月健康文化ウォーキングを開催している「まちづくりネットワーク」の中村隆さんの5人と意見を交換しました。

各団体の活動状況や課題、今後の取り組みなどの報告に熱心に耳を傾けた小川知事は、県の取り組みなどを紹介しながら、「みなさんの現場からの声を参考に、今後の県政に生かしていきたい」と話しました。

知事のふるさと訪問の様子は、グライフくおか（秋号）や県広報番組、県公式サイトで紹介される他、6月30日（日）、午前8時55分から、TNC「ふくおかリンク」でテレビ放送される予定です。



▲市や県のマスコットキャラクター「こっほりー」（右）や「エコトン」も登場

# 蒲池・東宮永・昭代公民館 リニューアルオープン

## 7月1日から利用できます

昨年12月から改修工事を行っていた蒲池公民館、東宮永公民館、昭代公民館の工事が終わり、7月1日から利用できるようになります。改修ではエレベーターの設置や段差を無くするなどバリアフリー化、照明をLEDにするなど省エネ化を行いました。またトイレの改修や内壁の貼り替えなども行いました。

改修費は蒲池公民館が7900万円、東宮永公民館は8290万円、昭代公民館は6990万円でした。

問い合わせは、市生涯学習施設係（☎77・8836）まで。



改修された蒲池公民館（蒲池農村環境改善センター・写真右上）、東宮永公民館（柳川農村環境改善センター・写真左上）、昭代公民館（就業改善センター・写真下）